

南半球便り（その 43）：「日本の魅力発信」レセプション

11 月 9 日

ロックダウン明けから間もないキャンベラでは、まだまだ正常化には程遠い状況です。そうした中で日本大使館が仕掛けたのが、「日本の魅力発信」レセプションでした。



1. 起点は JET

しばしば英語圏の識者から、「近年の日本政府の施策の大成功例」として高い評価を受けてきたのが、JET（Japan Exchange and Teaching）プログラムです。豪州、米国、英国等から毎年数百人規模の若者を募集し、日本各地に派遣。小学校・中学・高校で英語教員の助手、地方自治体の国際交流業務のアドバイザー役として報酬を受けて勤務しつつ、日本の地方生活を実地で体験してもらっているものです。

発足以来、34 年が経過、その間豪州からの参加者は累計で 5 千人近くに上ってきました。

「成功」と評されてきた大きな理由は、このプログラムのお陰で、普段は外国人が足を向けないような地方で JET 参加者が生活、勤務することにより、地方の国際化を支援するのみならず、参加者の間で日本の地方への理解を促進し、さらには数多くの「日本フ

アン」を生み出してきたからです。

実際、今回のレセプションに参加した JET の OB, OG に尋ねたところ、赴任先は、札幌近郊、水上温泉、入間市、明石市、愛媛県、大分市など、津々浦々。バラエティの広さに感じ入りました。



キャンベラ及びニュー・サウス・ウェールズの JET 同窓会関係者



公邸内で、JET 参加者・国費留学生の日本での思い出写真を展示

2. 帰国後の活躍

滞日期間は人により様々。特記すべきは、多くのケースが、周囲に英語を話す人などほとんどいない環境での地方生活なので、どっぷりと日本の生活に漬かることができる点です。そこで、言語、文化、風習も異なる日本社会に溶け込むのに苦労しつつも、日本人のはにかみと礼儀正しさの壁を一端乗り越えた後の気配り、優しさ、そして居心地の良さに惹かれ、日本リピーターになる人が沢山生まれてきました。

彼らの受入れを担当してきた自治体国際化協会幹部によれば、豪州からの参加者は、総じてしっかり者で信頼できるとの評価を得ているようです。

実際、豪州へ戻った後、経済界、官界、学术界などで活躍している人が少なからずいます。現在、キャンベラの日本大使館にも JET 経験者が 6 名もいて、彼らの活躍無くして大使館の仕事は回りません。嬉しいことに、シドニー、メルボルンの日本総領事館からも、JET 経験者の現地職員が駆けつけてくれました。

3. 大使館主催同窓会

彼らの間では時折集まって同窓会をしていたようですが、今回は大使館主催で開催したのが味噌です。折角日本での貴重な生活経験を有し、引き続き日本への関心や愛着を抱いている彼らに、引き続き豪州と日本との架け橋として関係強化に尽力して貰うよう、

呼びかけた次第です。

4. 文部科学省国費留学生

同時に、日豪の「架け橋」は JET だけに限りません。文部科学省の国費留学制度で豪州から日本に留学した学生は、累計で 700 名以上に上ります。中には、先頃まで東京 2020 大会組織員会で活躍した人もいらっしゃいます。



キャンベラ、シドニー、メルボルン在住の
国費留学経験者、日本語教師の皆様



国費留学経験者、JET 同窓生、日本語教師
の皆様

そこで、5 日に大使館で開催したレセプションでは、キャンベラ近郊の JET 同窓生だけではなく、国費留学経験者も参加して貰い、旧交を温める機会を提供した次第です。東京外語大、神戸大学の双方で勉強したブレット・クーパーさん（在京豪州大使館の前・商務担当公使）に開会の挨拶をして貰いました。



ブレット・クーパー氏

5. 大好評

長い間、ロックダウンでレセプションやパーティーの機会に恵まれなかったこともあって、当日は予想を超えて非常に盛り上がりました。17 時開始でしたが、21 時過ぎまで

熱く語り合う人の輪がいくつも見られた程です。

裏千家のご協力を得ての茶道デモンストレーション，和太鼓のパフォーマンスも，日本ならではの味わいと活気を与えてくれた上に，実地に体験できる参加型としたため，人だかりができていました。



和太鼓パフォーマンス



和太鼓体験ワークショップ

小形シェフを中心とする公邸スタッフが何日もかけて精魂込めて準備した笹かま（南三陸産），海老の天ぷら，唐揚げ，寿司，焼きおにぎり（仙台味噌使用），WAGYU ステーキ，フルーツポンチ（抹茶寒天，白玉）などの和食は，飛ぶようになりました。日本酒の「一品」（茨城），「南部美人」（岩手），酎ハイの「ストロング・ゼロ」（サントリー）などの日本ならではの飲み物が引く手あまたであったことも，嬉しい展開でした。



笹かま（南三陸産）



焼きおにぎり（仙台味噌使用）



お寿司



日本酒「一品」及び「南部美人」、酎ハイ
「ストロング・ゼロ」

「コロナで多くの機関が過度に慎重になって活動を引き続き低下させているにもかかわらず，こうしたイニシアティブをとった日本大使館の英断に感謝する。」との声を，JET，国費留学参加者のみならず，日本語教師，奈良・キャンベラ姉妹都市委員会関係者，キャンベラの在留邦人，豪州各地から参加された日本企業トップ，カウラ関係者，邦人プレスなど，何人もの参加者から頂戴しました。



令和3年秋の叙勲を受章された
ナレル・ハーグレーブス氏
(キャンベラ・奈良姉妹都市委員会会長)



カウラ市及びキャンベラ豪日協会関係者の皆様

ありがたい限りです。多くの館員が苦勞しながらも開催にこぎつけた意義を肌身で感じることができました。

6. 年中行事に

あいにくの雨天にもかかわらず，駆けつけてくれた参加者は140名を上回りました。多くの人々と歓談する中で，JETプログラム，文科省国費留学制度参加者が日本にとって

の「大きな財産」であることを強く再認識しました（私のスピーチは[こちら](#)をご覧ください）。

そうである以上、単発のレセプションで満足するのではなく、今後は一年に一回は開催する形にしていきたいと考えています。

山上信吾